

自律	目標に向かって自分自身を律する
感謝	思いやりや感謝の気持ちをもつ
貢献	地域社会に貢献する態度を養う
創造	持続可能な社会の創造に挑戦する

啖啄同時

2022.10.28 第.26号



年功者の話

ある本に次のような一節がありました。

年功者の話を聞くときは、たとえ自分がよく知っている内容でも、ありがたく思って拝聴すべきだ。同じ内容の話でも、十度二十度と聞いているうちに、ふと胸に響いて深く納得できることもある。それは、格別の知恵となって身につくものだ。年寄りの繰り言（くりごと）と馬鹿にしてはいけない。やはり年功者のありがたい教訓なのだから。

歴史を学ぶ意味の一つに、過去の出来事などから、なぜそれが起きたか、その理由や関係性を考え、その教訓を現代に活かすという事があります。過去の人々の経験から学ぶことが大事だということです。

中学生の皆さんに大先輩からのメッセージをお届けします。20代の若者に向けてのメッセージで少々難しいかもしれませんが、中学生の皆さんにも十分に伝わる内容だと思います。キャリア教育での学びと関連付けて考えてみて下さい。

20代のうちに一つスペシャリティをもつ

キックマン名誉会長 茂木友三郎

「20代のうちに一つはスペシャリティ、強みを持つ」

私の経験を踏まえて、20代の皆さんにぜひお伝えしたいことである。かみ砕いて言えば、「あそこの会社には素晴らしい社員がいる」「あなたが欲しい」と市場価値がつき、**他社からスカウトされるような存在になれ**ということだ。

では、スペシャリティを身につけるために何が大切か。**いま目の前に与えられた仕事を一所懸命やる**。これ以外にはない。どうしても合わないと思ったら、部署を替えてもらう、あるいは転職することもあり得るだろう。しかし、移っても代わり映えしないことが大概（たいがい）だ。ゆえに、**好き嫌いなどという私情をはさまず、与えられた自分の仕事に全力を注ぎ、超一流になろうと努力すべきである**。

また、スペシャリスト、すなわち専門家になる上でもう一つ大切なことは、**自分で勉強することだ**。本を読むもよし、セミナーに行くもよし、それらの教えや周りの人からのアドバイスを素直に聴き、実践し、自分の仕事のツボは何かを早く気付くことが必要だと思う。

最後に、私自身が若い頃から心を鼓舞されてきた言葉を贈る。

「名を成すは毎(つね)に窮苦(きゅうく)の日に在り。事に破るは多く得意の時に因(よ)る」

これは『酔古堂劍掃』という古典金言集に出てくる一節。

